

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立表郷中学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学に、今年度は英語を加えた3教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「数学A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「数学B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

また、中学校の英語は、今年度、新たに加わった教科で「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域の調査を実施し、「参考値」扱いである「話すこと」を除く3領域について集計されました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	72.8%	○				
数学	59.8%	○				
英語	56.0%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	70.2%	○				
書くこと	82.6%	○				
読むこと	72.2%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.7%	○				

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」の領域において、話合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つことが苦手だと考えられます。授業の中で、教師が話合いをコーディネートして、話合いの論点を抑えさせ、整理して考える力が身につくようにしていきます。
- 「書くこと」の領域において、根拠を明確にして書いたり、文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討したりすることが苦手だと考えられます。また「読むこと」の領域において、文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして、自分の考えをもつことが苦手だと考えられます。授業の中で、登場人物の心情や文章の構成について、どのような手順で考えをまとめていけばよいかの型を与え、見通しを持たせながら意見を交流させ、学んだことを振り返らせるというサイクルを確立し、根拠を明確にして自分の考えを持ち、表現する力をつけていきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	63.8%	○				
図形	72.4%	○				
関数	40.8%	○				
資料の活用	56.3%	○				

【考 察】

- 計算の方法や方程式の解き方については理解しています。一方で、目的に応じて式を変形したり、その意味を読みとったりして、事柄が成り立つ理由を説明する力が不足しています。問題に対して、自ら予想を立てて、その予想が正しいことを数学的に説明する授業を行っていきます。また、友達が立てた式を説明する活動を取り入れ、式の意味を読み取る力を育てていきます。
- 図形の性質の証明を読んで、新たな性質を見いだす力が不足しています。ある事柄について証明した後に、その証明を見直すことや、条件を変えて発展的に考え、見いだした図形の性質について証明する授業を行っていきます。

【英語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
聞くこと	67.9%	○				
読むこと	55.6%	○				
書くこと	45.8%	○				

【考 察】

- 「読むこと」の領域において、日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を正確に読み取ることは全国平均を上回ることができましたが、説明文の大切な部分を理解する力が不足しています。授業において、教科書の内容にある対話文などを活用し、読解力を高める指導をしていきます。
- 「書くこと」の領域においては、全体的に力が不足しています。会話が成り立つように英語を適切な形に変えたり、語を補ったりして英文を書く力が特に低いです。宿題や家庭学習等を活用して、「書くこと」の領域を高めることができるように指導をしていきます。

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立表郷中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、是非、御家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
中	全 国	14.9	35.5	37.3	12.2
3	表郷中	14.3	30.6	51.0	4.1

(単位 %)

【考 察】

- 「全くしていない」割合が全国と比べ少ない結果となっています。その一方で、「している」「どちらかといえればしている」割合が全国と比べ低くなっています。自分で学習計画を立て、計画的に学習する習慣が身につくよう支援していきます。
- 5月より、2週間ごとに「学習計画表」を作成し、計画的に家庭学習を行うための取り組みを行っています。毎日、一定時間、決まった場所で家庭学習を続けられるよう、指導を継続していきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	全 国	9.9	25.6	34.3	17.2	8.4	4.4
3	表郷中	10.2	22.4	38.8	22.4	4.1	2.0

(単位 %)

【考 察】

- 全国と比較し、「3時間以上」の割合が多く、「30分未満」、「全くしない」割合が少ないという結果になりました。本校の生徒は、時間にばらつきはあるものの、ある程度の時間を確保して学習できている状況です。今後も、毎日一定時間以上の学習時間を確保できるよう支援していきます。
- 「1時間以上2時間未満」の生徒の割合が高い状況です。50%以上の生徒が2時間以上学習することを目標に支援していきます。一定の学習時間を確保できている生徒に関しては、さらに学習内容が充実するようアドバイスしていきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
		中 3	全 国	4.8	7.6	14.6	23.4
	表 郷中	6.1	4.1	18.4	32.7	14.3	24.5

(単位 %)

【考 察】

- 「10分以上30分未満」の生徒が3割以上という結果になりました。毎朝、全校生が一齐に10分間の読書を行う読書タイムを実施しています。今回の結果から、ほとんどの生徒がこの時間以外は読書をしていないことが分かります。今後は、学校司書の協力を得ながら、読書をする時間を増やせるよう努めてまいります。
- 学校全体として、ビブリオバトルなどを通して、読書に親しむ機会を設けていきます。

4 将来の夢や目標を持っていますか。

		持っている	どちらかといえ ば持っている	どちらかといえ ば持っていない	持っていない
		中 3	全 国	44.9	25.6
	表 郷中	51.0	24.5	20.4	4.1

(単位 %)

【考 察】

- 夢や目標を持つことができている生徒が多いです。半数以上の生徒がしっかりと、夢や目標を持ち、生活できていることは素晴らしいです。授業や二者面談等でも、多くの生徒がはっきりと将来について話すことができます。今後は、夢の実現に向けてのプロセスまで考えられるように支援していきます。
- 生徒が、より明確な夢や目標を持てるよう、総合的な学習の時間に、職業調べや、職場体験学習を実施していきます。また、講師の先生をお招きして職業講話を実施し、働くことの意義や進路選択についての考えを深める機会を設けていきます。実際に自分で調べたり、体験したりすることで、自分の将来について真剣に考え、普段の学校生活や授業に意欲的に取り組めるよう支援していきます。